

## 2020 年度事業計画案

(2020 年 4 月 1 日より 2021 年 3 月 31 日まで)

ボンド磁性材料工業技術の改善発達を図り、関連業界の健全なる発展に寄与するため、下記事業を実行するとともに、ボンド軟磁性材料関連の法人会員の加入を促し、生産動向および技術動向の基礎資料の収集を図る。

### (1) ボンド磁性材料の生産、消費に関する調査研究

#### 1. ボンド磁石関連の生産、消費に関する調査研究

##### 1.1 ボンド磁石出荷統計資料作成の継続

- 1.2 国内外のボンド磁石生産状況及び関連するセット統計情報を把握し公表する  
「2020 年・日本ボンド磁石業界推定値（速報）」2021 年 新年賀詞交歓会にて公表  
「2020 年・ボンド磁石関連セット統計」BMニュース 64 号、65 号に掲載  
「2020World Bonded Magnet Output」2021 年 4 月 法人会員限定で公表  
「2020 年ボンド磁石の出荷統計と需要動向」2021 年 4 月 法人会員限定で公表

#### 2. ボンド軟磁性材料の生産、消費に関する調査研究

- 2.1 軟磁性材料研究会を継続し、現在注目されている圧粉磁心を主に、ソフトフェライト、ケイ素鋼、アモルファス金属、ナノ結晶金属等の代表的な軟磁性材料の国内外の材料技術や応用技術、さらには関連市場の動向を調査研究し、研究会に参加いただく企業全体の技術の発展に役立つような活動を行う。

### (2) ボンド磁性材料に関する国内外の情報収集

#### 1. 関連団体との交流

国内関連団体との交流を密にして情報の交換をおこなう。

#### 2. 海外学会業界団体との交流

海外の市場動向、技術動向を把握するため、積極的な交流を通じて情報収集を進める。  
**ボンド磁石の生産統計について欧米におけるデータ入手を検討する。**

#### 3. 「永久磁石の国別輸出入統計値の収集」BMニュース 64 号、65 号に掲載

#### **4. 磁石用希土類金属の輸入統計入手を検討する**

### (3) ボンド磁性材料の技術に関する調査研究

#### 1. 技術例会の開催

新型コロナウイルス感染予防のため 5 月の技術例会は中止とする。

5 月にお願いしていた講師には、12 月シンポジウムが開催可能であればそこで講演をお願いする予定。

9 月予定の技術例会も開催は難しそう。

## 2. 規格及び基準の制定

### 2.1 ボンド磁石関連

**「ボンド磁石試験方法ガイドブック」改訂版のPR・頒布を継続する。**

### 2.2 ボンド軟磁性材料関連

**圧粉磁心のIEC規格案を検討する。**

**マーケットリサーチ結果を共有する。**

**「ボンド軟磁性材料試験方法ガイドブック」作成を進める。**

## (4) ネットワーク活用による情報伝達の効率化

1. 協会ホームページ活用により、協会活動をPRを継続する。
2. 電子メールを活用することで情報伝達を効率的に行い、経費削減を継続する。  
各種行事の申込みをWeb上で行う。

**3. Web上で検索できるようにした技術会議 既講演タイトル等のデータ追加継続。**

## (5) ボンド磁性材料の普及啓発

### 1. 機関誌の発行

機関誌「BM News 64号、65号」を10月、4月を目標に発行する。  
(既刊 No.1～No.63)

### 2. 講演会および講座の開催

業界環境変化に即応した講演会又はシンポジウムを適時開催し、ボンド磁性材料業界の活性化とユーザー・メーカーへの啓蒙を推進する。

2.1 2020年シンポジウム 2020/12/4 開催予定

2.2 JABM新春公開セミナー 2021/1/15 開催予定

#### 2.3 寺子屋BM塾

新型コロナウイルス感染予防のため今年度は中止とする。

#### 2.4 軟磁性材料研究会開催

新型コロナウイルス感染予防のため今年度は中止とする。

#### 2.5 圧粉磁心の規格化・標準化部会

新型コロナウイルス感染予防のため今年度は中止とする。

IEC規格などについて必要であればWeb上で意見交換を行う。

2.6 国内外における関連業界団体が開催する事業に協賛し、必要に応じて参加し相互交流を深める。

#### 2.7 校正用磁石セット頒布の継続と促進

校正用磁石を用いることにより、磁気測定値の信頼性向上を図る。

Ver.3 50セット用材料は入手し、32セット頒布済み。

## (6) 協会体制の充実と組織強化

1. ボンド磁石およびボンド軟磁性材料関連の未加盟主要メーカーの加入促進を図る。
2. 協会の安定性・永続性をめざして協会体制の充実を図り業界の活性化に努める。
3. 見学会、研修会を開催し、会員相互のより一層の親睦融和を図る。

以上

## その他

### 名誉会員推戴について

#### 規約の第二章 会員

##### 第5条

(5) 名誉会員は、本会に係わる功労者または学識経験者とする。

(6) 上記の会員の資格については理事会で都度審議する

##### 第6条

名誉会員は、理事会の推薦により、理事会の同意を得てなることができる。

という基準に則り下記の4名を名誉会員に推戴する。

#### 山元 洋氏：学識功労

山元洋氏は、フェライト磁石および液体急冷法を用いた希土類磁石の研究開発を通じて世界的に著名な研究者であるほか、電気学会マグネテックス研究会永久磁石部門の調査専門委員会の委員長を12年間（4期、1989.4～2001.3）務められ磁石産業界の発展に寄与されるなどそのお立場より、当協会では評議員としてご指導頂き、長期に渡って当協会の健全な発展にご尽力頂いている。

#### 芳賀 美次氏：業績功労

芳賀美次氏は、リジッドボンド磁石の第一人者であり、特に、複合材料としての観点より製造技術の向上を指導してこられた。また、2006年から2017年まで会長を務め、その後も顧問としてご協力頂くなど、協会発展に多大な貢献を認める。

#### 阿部 城士氏：業績功労

阿部城士氏は、フレキシブルボンド磁石の第一人者であり、その用途拡大を牽引するとともに、当協会が生産統計をまとめるに当たり指導的役割を担ってこられた。また、1996年から2005年まで副会長を務め、その後も顧問としてご協力頂くなど、協会運営に多大な貢献が認められる。

#### 奥村 邦夫氏：業績功労

奥村邦夫氏は、磁気応用および測定技術の第一人者であり、当協会の技術委員としてボンド磁石の規格作成、測定器校正用磁石セットの製作頒布に関しご指導して頂くなど、当業界の技術力向上に多大な貢献を認める。